



# 夢★きらめに

No.  
7

加東市教育委員会／加東市人権・同和教育研究協議会 平成21年3月1日



特集

## 人権と男女共同参画に関する アンケート調査結果概要

# 人権と男女共同参画に関する アンケート調査結果

加東市では、一人ひとりが幸せな社会を築くため、人権尊重のまちづくり基本計画、男女共同参画プランの策定を計画しています。

昨年6月、みなさまの日頃の生活の中でのお考えやご意見をおたずねして、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施いたしました。このたび、アンケート結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

## 調査の概要

調査目的：「人権尊重のまちづくり基本計画」および「加東市男女共同参画プラン」の基礎資料とするため

調査対象：加東市に在住する20歳以上の方の中から無作為で抽出した2,000人の方々

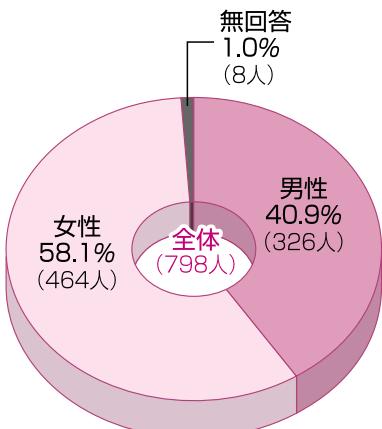
調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成20年6月2日～6月18日

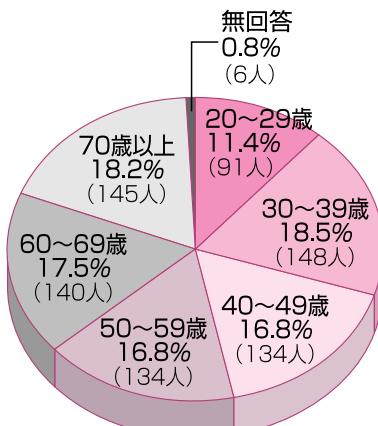
回収状況：798件（39.9%）

## 回答者の状況

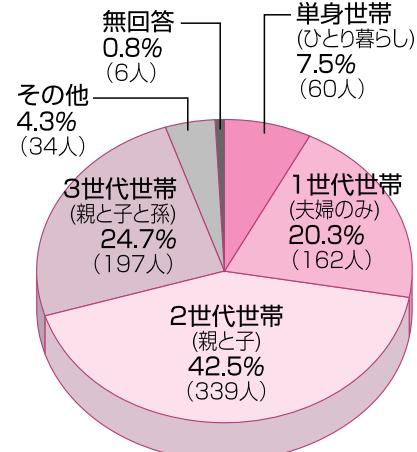
性別



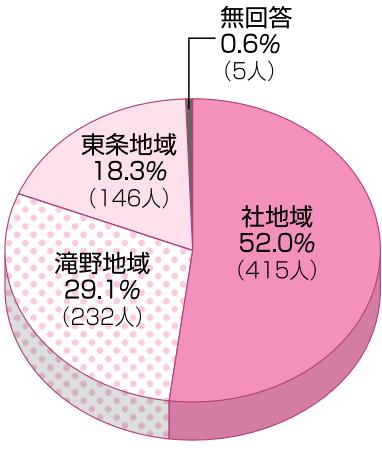
年齢



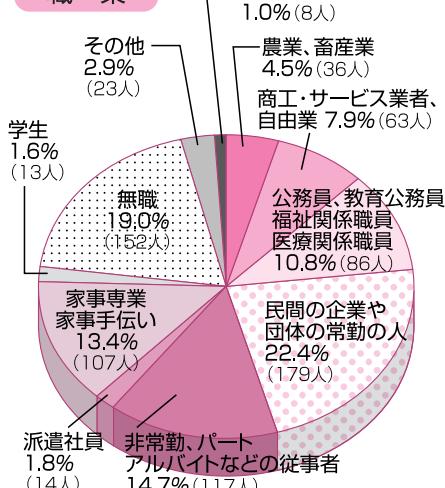
世帯人数



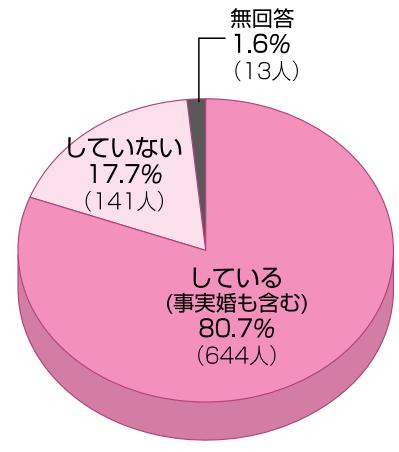
居住地域



職業



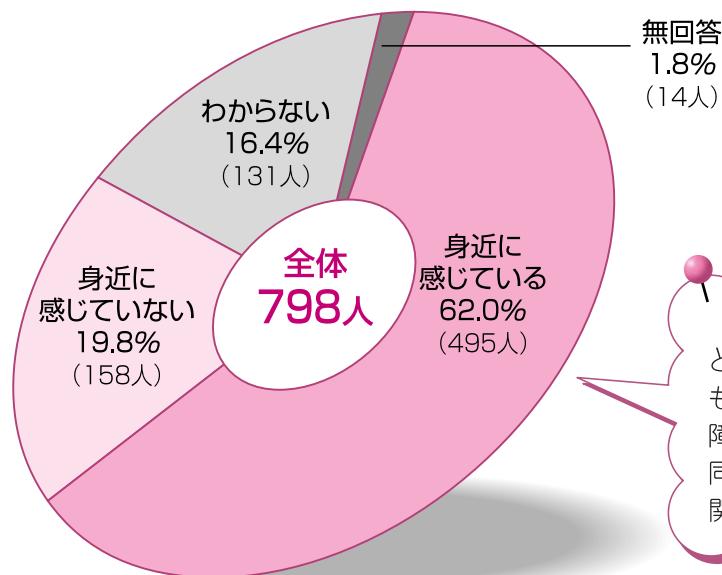
結婚



# ● 人権 ●

## 人権への親近感

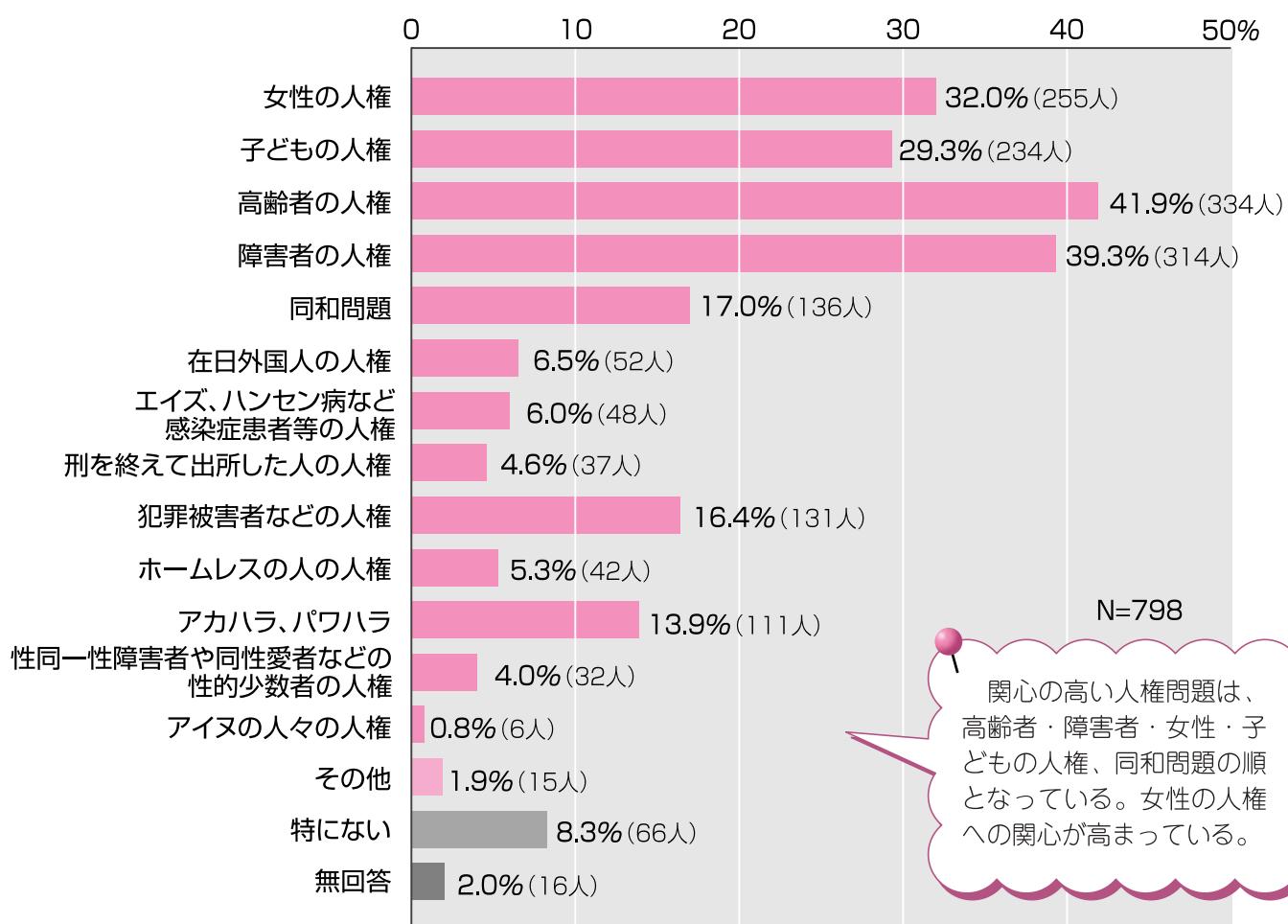
Q あなたは、「人権」を身近な問題として感じていますか。(○は1つだけ)



人権を「身近に感じている」と回答した人が62.0%と最も高く、人権問題が高齢者、障害のある人、女性、子ども、同和問題などあらゆる人権に関心が向けられている。

## 関心のある人権問題について

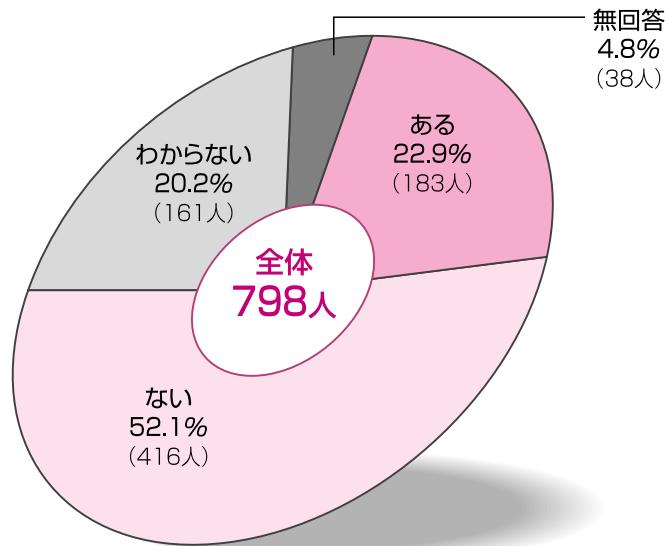
Q 私たちの日常生活には、人権に関わるいろいろな問題がありますが、とくに関心のあるものはなんですか。(○は3つまで)



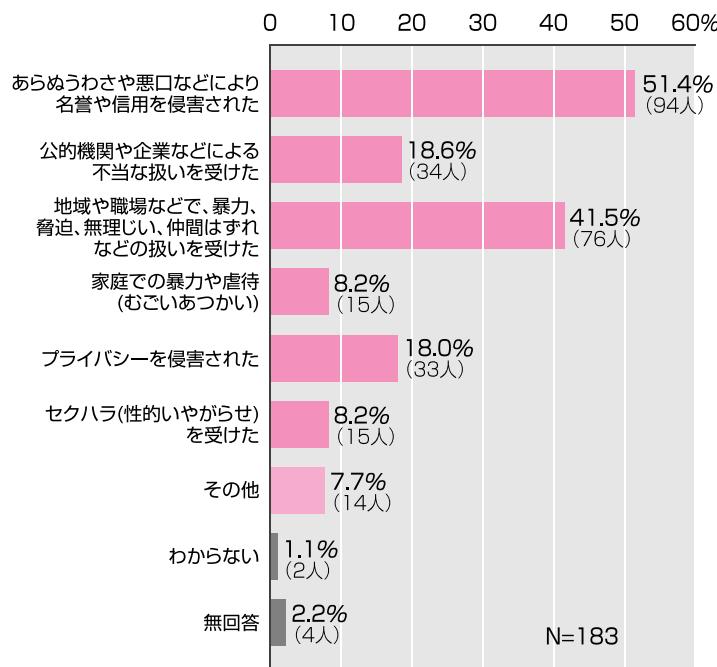
関心の高い人権問題は、高齢者・障害者・女性・子どもの人権、同和問題の順となっている。女性の人権への関心が高まっている。

## 人権侵害について

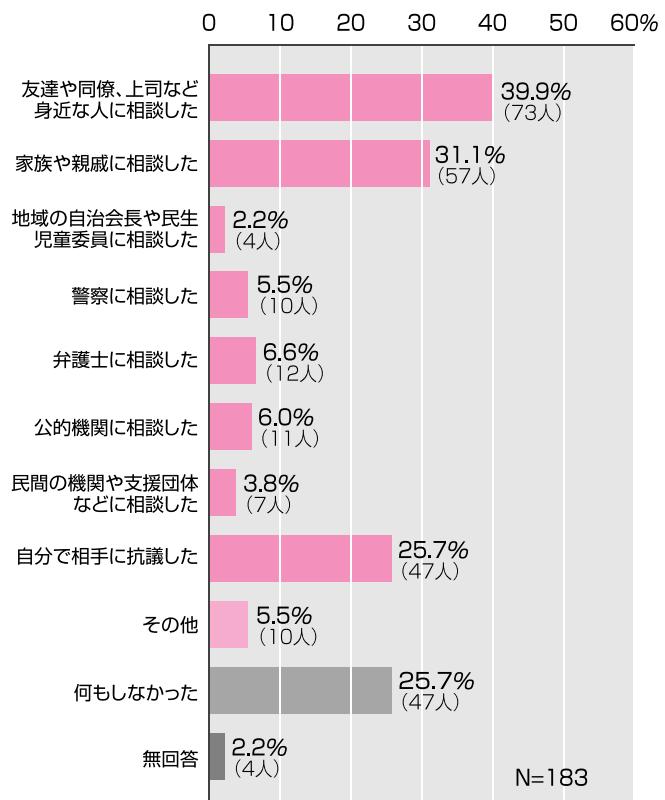
Q あなたは、今までに自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。(○は1つだけ)



Q それはどのような人権侵害でしたか。  
(○はいくつでも)



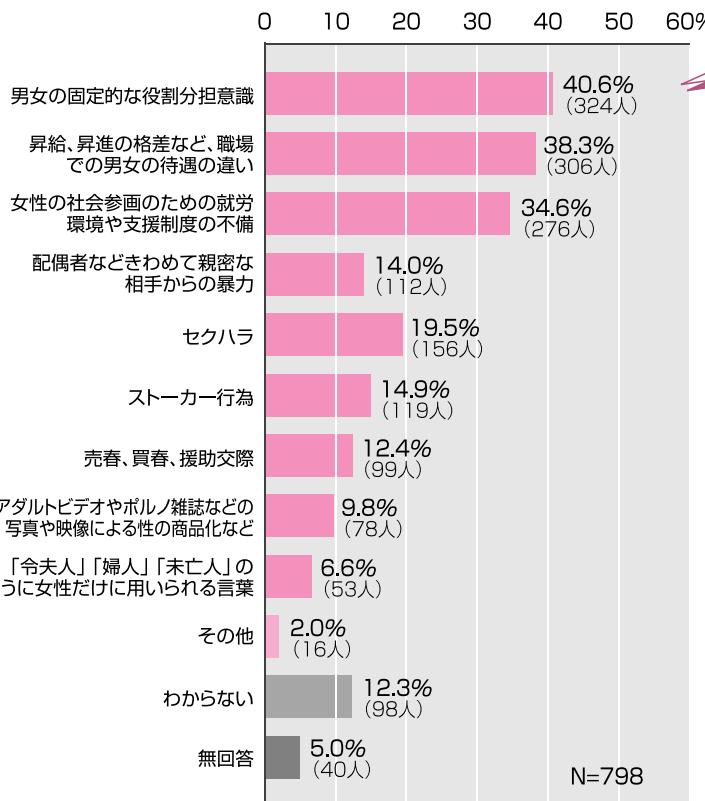
Q あなたは、人権侵害を受けた時、どうしましたか。(○はいくつでも)



自分の人権が侵害されたと感じたことが「ある」と回答した人は22.9%で、ほぼ5人のうち1人が「ある」と答えている。「ある」と答えた人に、それがどのような人権侵害だったかを聞いたところ、「あらぬわざや悪口などにより名譽や信用を侵害された」(51.4%)、「地域や職場などで、暴力、脅迫、無理強い、仲間はずれなどの扱いを受けた」(41.5%)が多くあげられている。また、人権侵害を受けたときどうしたかをたずねたところ、「友達や同僚、上司など身近な人に相談した」(39.9%)、「家族や親戚に相談した」(31.1%)が多く、警察、弁護士など公的機関や民間の機関に相談した人は少ない。

## 女性の人権について

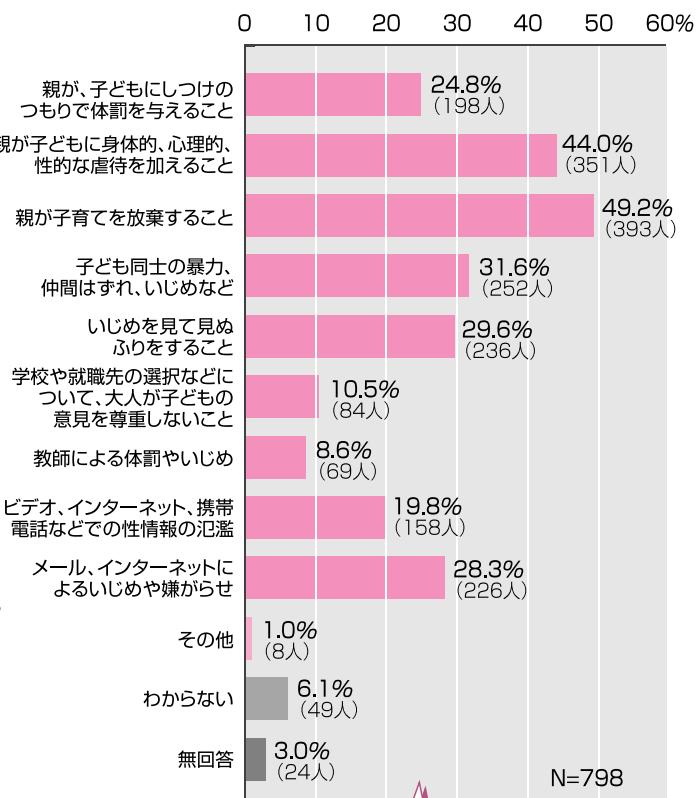
Q あなたは、女性に関することで、人権上とくに問題があると思うのはどのようなことですか。（○は3つまで）



「男女の固定的な役割分担意識」(40.6%)が最も多く、「昇給、昇進の格差など、職場での男女の待遇の違い」(38.3%)、「女性の社会参画のための就労環境や支援制度の不備」(34.6%)となっている。

## 子どもの人権について

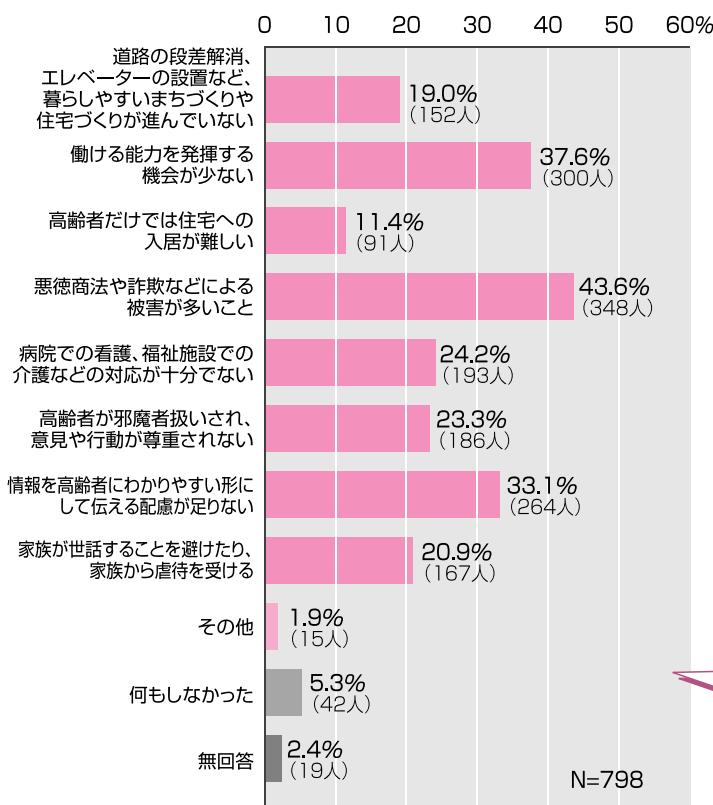
Q あなたは、子どもの人権上とくに問題があると思うのはどのようなことですか。（○は3つまで）



「親が子育てを放棄すること」(49.2%)が最も多く、「親が子どもに身体的、心理的、性的な虐待を加えること」(44.0%)となっている。親の子育てに問題があると思う人が多い。

## 高齢者の人権について

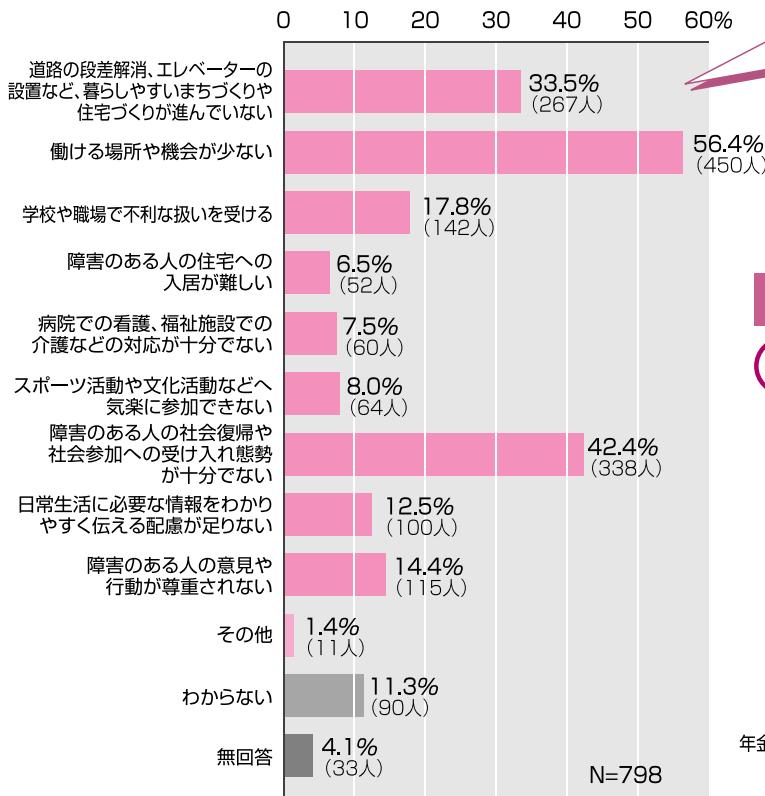
Q あなたは、高齢者の人権上とくに問題があると思うのはどのようなことですか。（○は3つまで）



「悪徳商法や詐欺などによる被害が多いこと」(43.6%)が最も多く、「働く能力を発揮する機会が少ない」(37.6%)となっている。高齢者の働く場が少ないことを示している。

## 障害のある人の人権について

Q あなたは、障害のある人の人権上とくに問題があると思うのはどんごうなことですか。(○は3つまで)

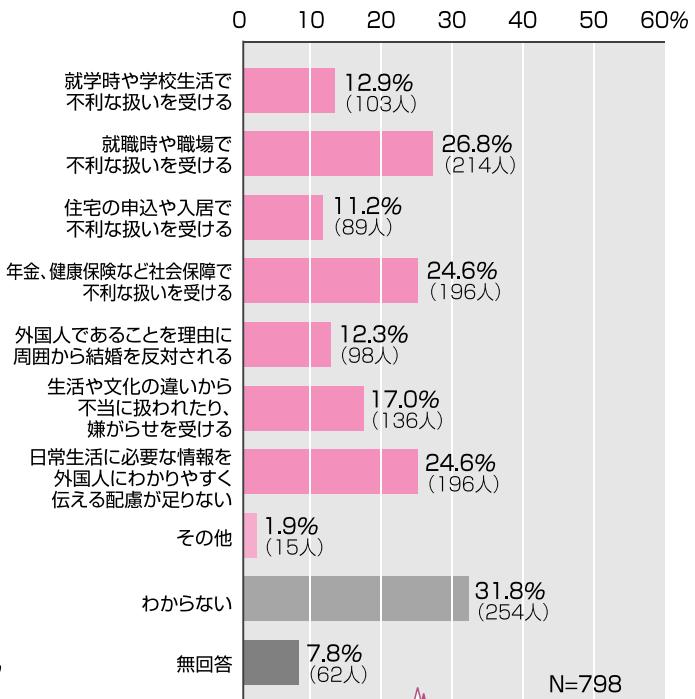


「働く場所や機会が少ない」(56.4%)が最も多く、「障害のある人の社会復帰や社会参加への受け入れ態勢が十分でない」(42.4%)となっている。

障害のある人が身近で普通に生活しているのが当たり前という社会を実現することが大切である。

## 外国人の人権について

Q あなたは、日本に居住している外国人の人権上とくに問題があると思うのはどんごうなことですか。(○は3つまで)

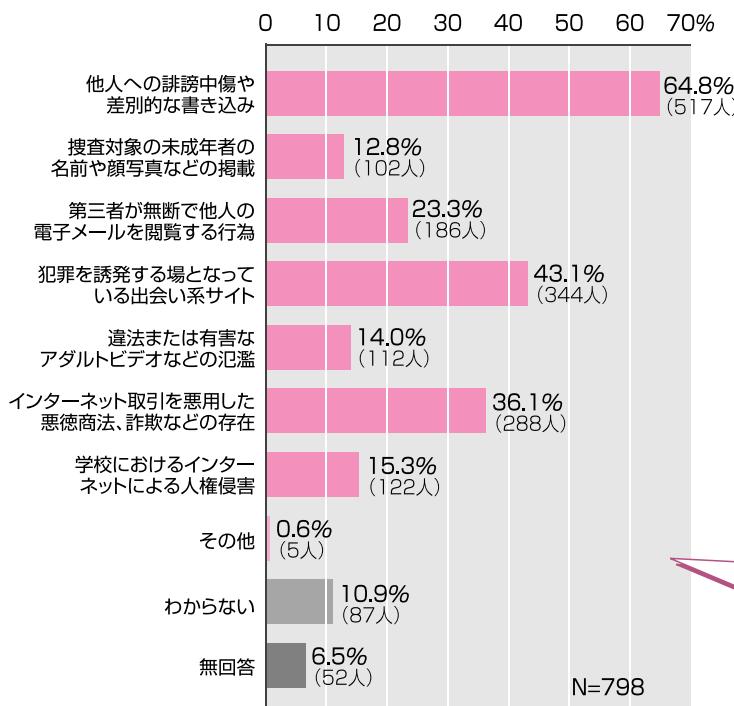


「わからない」と回答した人が31.8%、次いで「就職時や職場で不利な扱いを受ける」(26.8%)となっている。

外国人が地域の一員として暮らしやすい環境をつくっていくことが大切である。

## インターネットによる人権侵害について

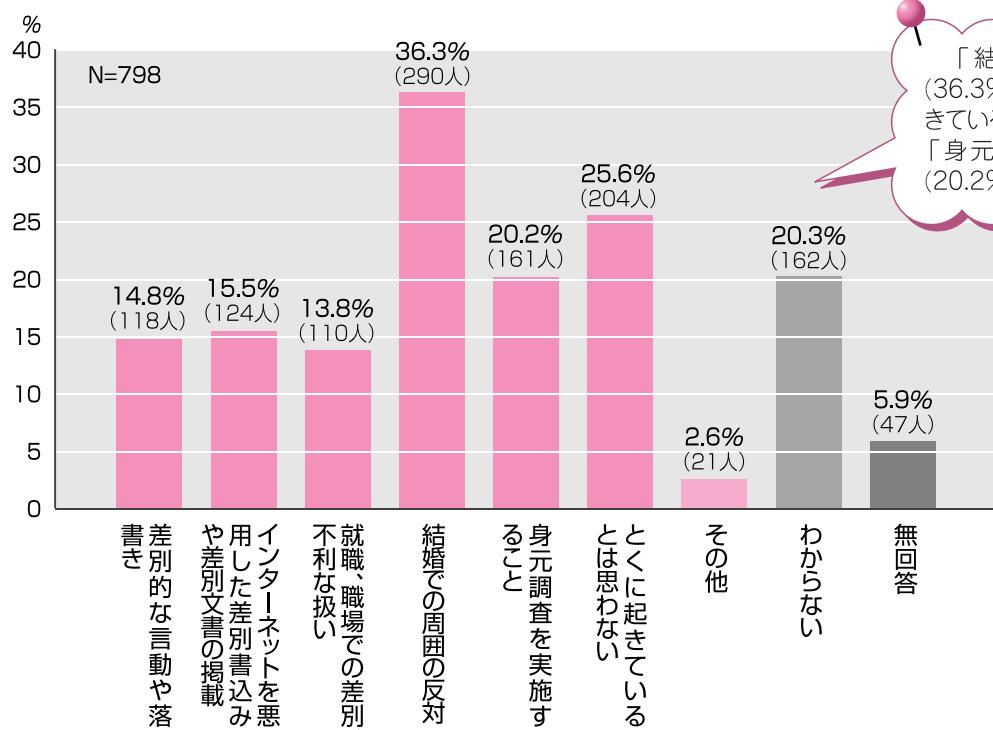
Q あなたは、インターネットを悪用した人権侵害について、とくに問題があると思うのはどんごうなことですか。(○は3つまで)



「他人への誹謗中傷や差別的な書き込み」(64.8%)、「犯罪を誘発する場となる出会い系サイト」(43.1%)が多くあげられており、情報化社会の進展に伴い、個人情報やプライバシーの保護に対する関心が高まっている。

## 同和問題について

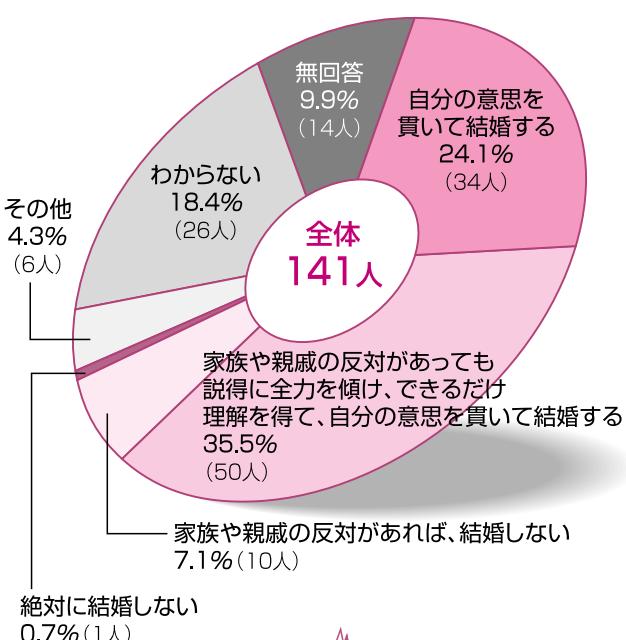
Q あなたは、同和問題に関して、今、どのような差別事象が起きていると思いますか。(○は3つまで)



「結婚での周囲の反対」(36.3%)が最も多く、「とくに起きているとは思わない」(25.6%), 「身元調査を実施すること」(20.2%)となっている。

## 未婚の方

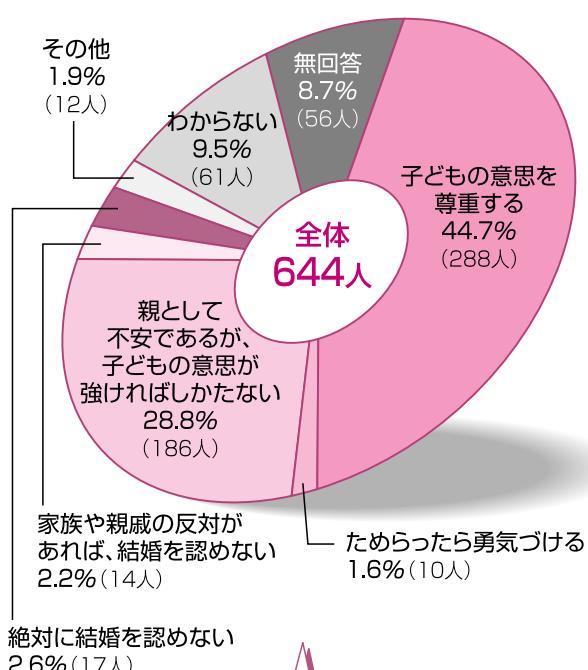
Q あなたが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうしますか。(○は1つだけ)



結婚に前向きな人が59.6%となっているが、自分の意思を貰いて結婚すると言い切ることのできる人はまだ多いとは言えない。

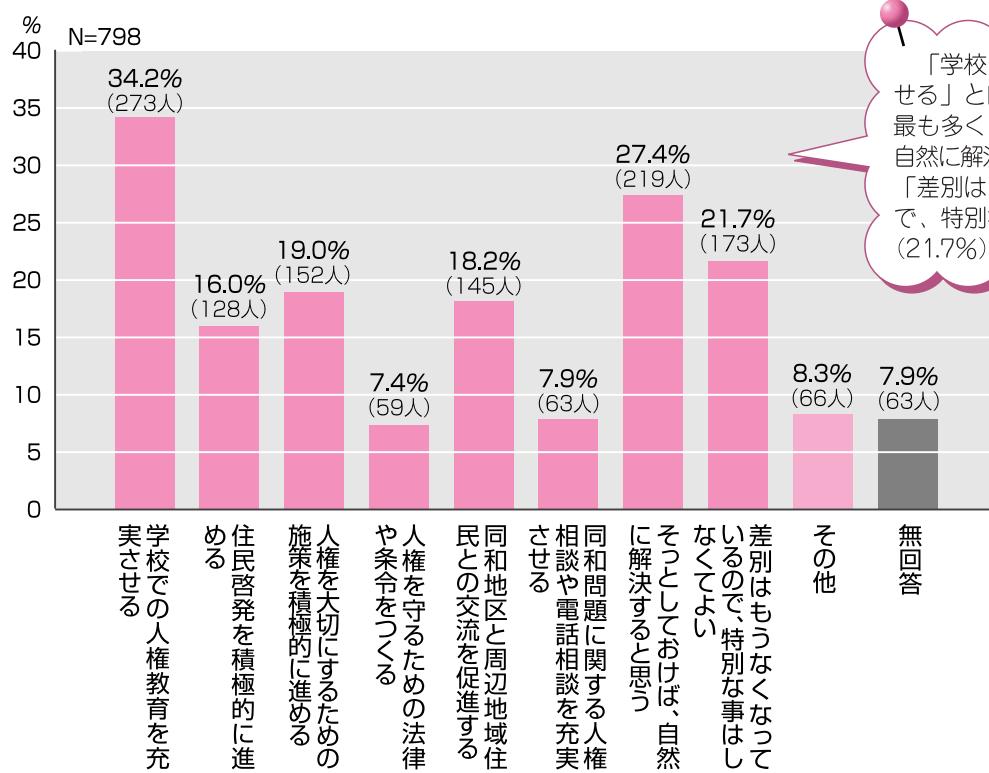
## 既婚の方

Q あなたの子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうしますか。(○は1つだけ)



「子どもの意思を尊重する」と「ためらったら勇気づける」を合わせると46.3%である。結婚に対する差別が現れている。

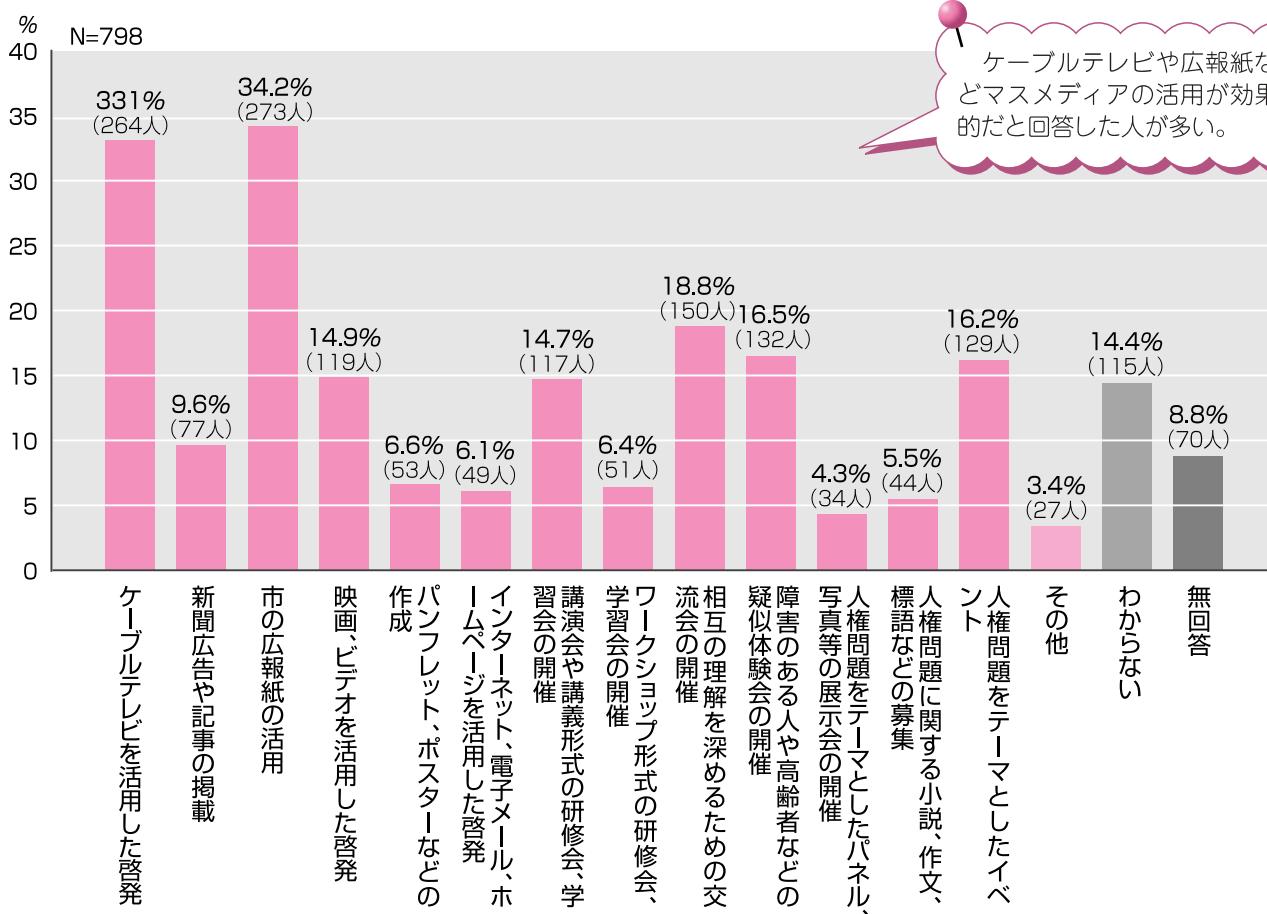
**Q 同和問題の解決のためには、どうしたらよいと思いますか。(○は3つまで)**



「学校での人権教育を充実させる」と回答した人が34.2%と最も多く、「そっとしておけば、自然に解決すると思う」(27.4%)、「差別はもうなくなっているので、特別な事はしなくてよい」(21.7%)となっている。

**II 人権教育・啓発について**

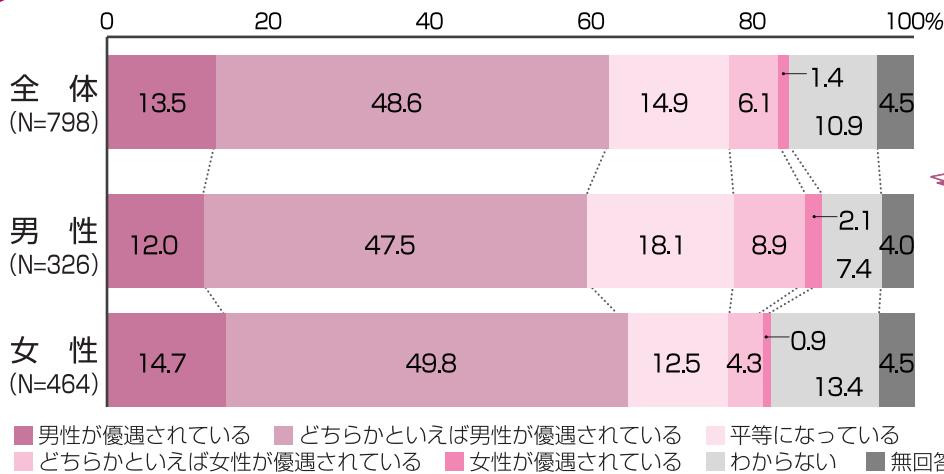
**Q 人権尊重のまちづくりを進めるためには、どのような啓発活動が効果的だと思いますか。(○はいくつでも)**



ケーブルテレビや広報紙などマスメディアの活用が効果的だと回答した人が多い。

## ●男女共同参画について●

Q あなたは、現代の社会における男女の地位について、どのように思いますか。（○は1つだけ）



全体では、男性が優遇されていると思う人（「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた数値）は62.1%である。性別でみると、男性で「男性が優遇されていると思う人」は59.5%に対して、女性で「男性が優遇されていると思う人」は64.5%である。

Q あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方について、どのように思いますか。（○は1つだけ）



全体では、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方について、賛成する人（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた数値）は37.1%である。反対する人（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた数値）は55.3%である。

反対する人の割合が、賛成する人の割合より18.2ポイント高くなっている。

Q あなたは、高齢者を介護する場合の家庭内での分担について、どのように思いますか。（○は1つだけ）

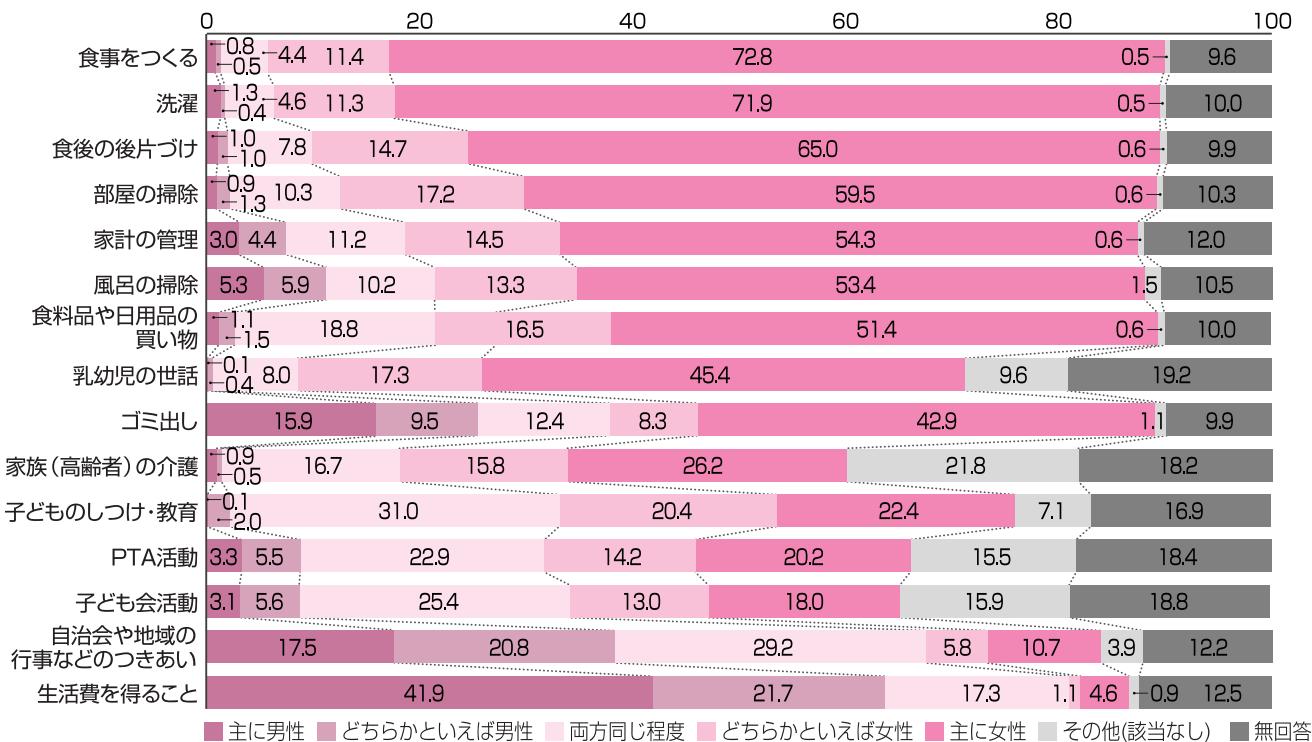


全体的に「男女が共同して分担する方がよい」とすることの割合が高い。

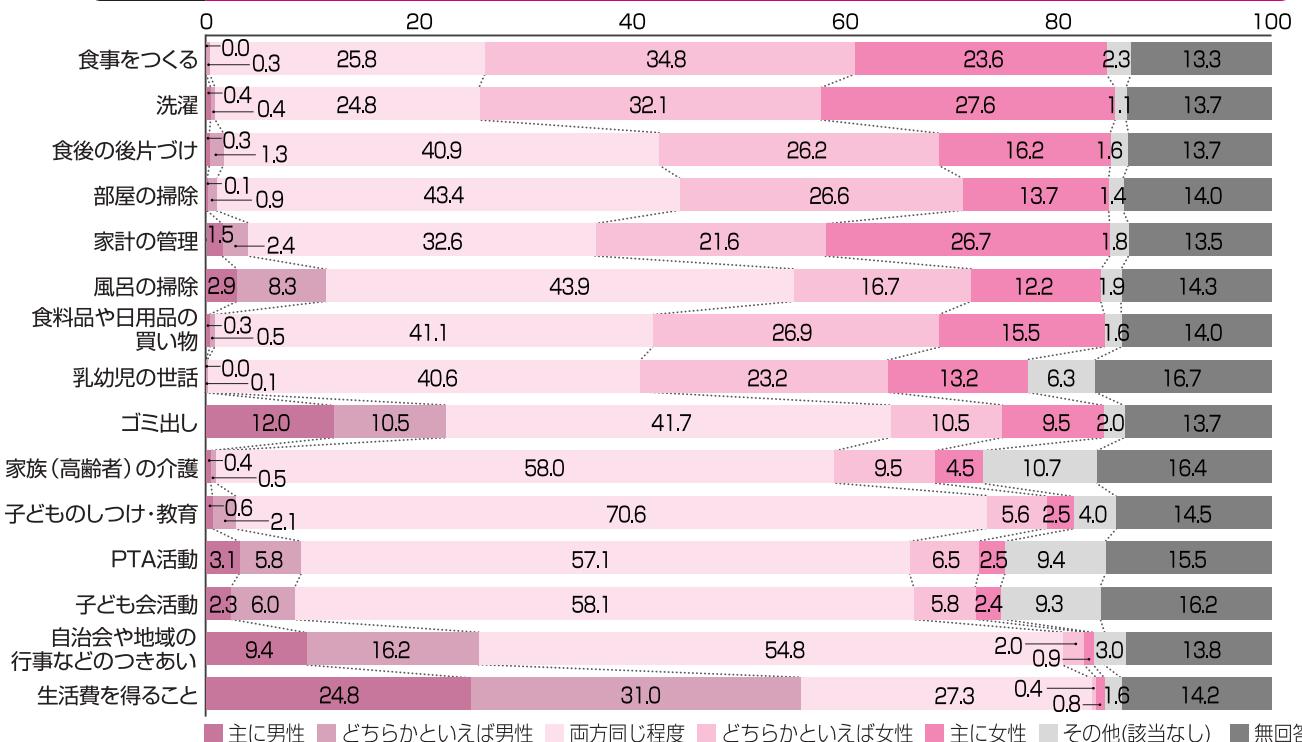
女性が受け持つ方がよい  
どちらかといえば女性が受け持つ方がよい  
男女が共同して分担する方がよい  
どちらかといえば男性が受け持つ方がよい  
男性が受け持つ方がよい  
わからない  
無回答

**Q あなたのご家庭での家事、育児、介護などについておたずねします。つぎにあげるようなことをどなたがされていますか。また、希望はどのようなものですか。(○は1つだけ)**

**実際 あなたのご家庭では、つぎにあげるようなことをどなたがされていますか。**



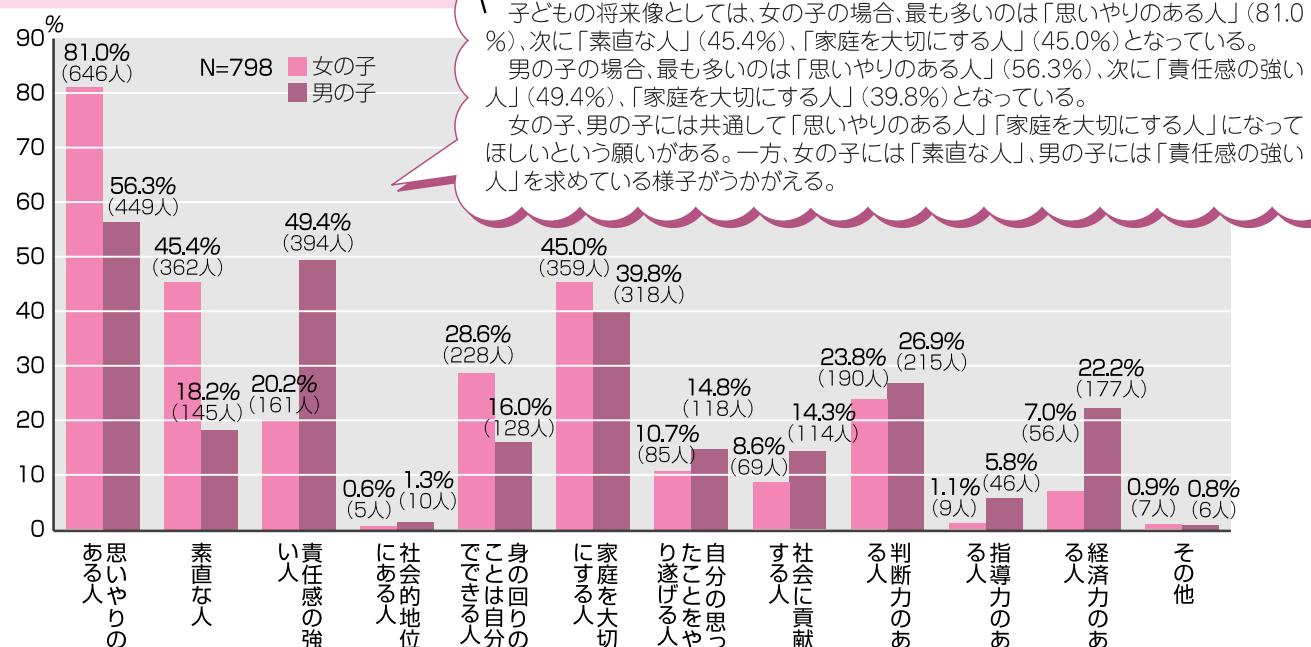
**希望 あなたのご家庭での家事などについて、希望はどのようなものですか。**



実際の生活では、ほとんどの家事を女性が担っている。「生活費を得ること」「自治会や地域の行事などのつきあい」に関しては男性が担っている割合の方が高い。

「希望」としては、全般的に男性女性ともに、家事・育児・介護などを協力して行おうとしていることがうかがえるが、「食事をつくる」、「洗濯」に関しては、女性がするのが望ましいと考えている人が多く、「生活費を得ること」は、男性がするのが望ましいと考えている人が多い。

**Q 子どもはどのような人に育ってほしいと思いますか。女の子、男の子それぞれの場合について、お答えください。（○は3つまで）**

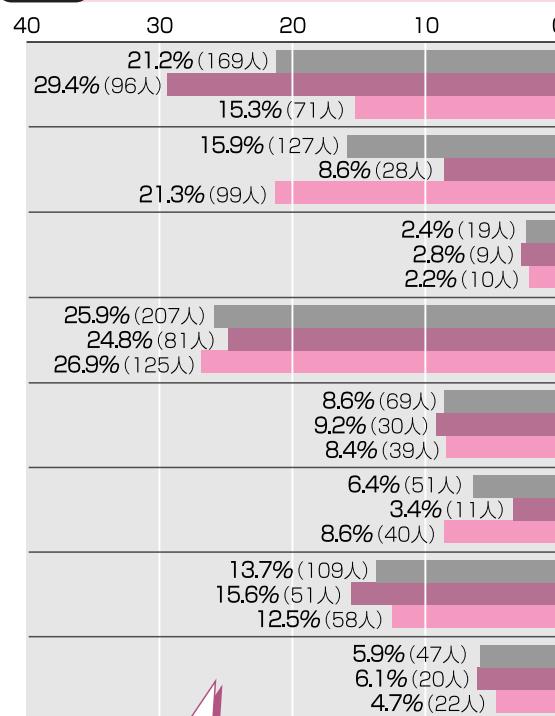


子どもの将来像としては、女の子の場合、最も多いのは「思いやりのある人」(81.0%)、次に「素直な人」(45.4%)、「家庭を大切にする人」(45.0%)となっている。男の子の場合、最も多いのは「思いやりのある人」(56.3%)、次に「責任感の強い人」(49.4%)、「家庭を大切にする人」(39.8%)となっている。女の子、男の子には共通して「思いやりのある人」「家庭を大切にする人」になってほしいという願いがある。一方、女の子には「素直な人」、男の子には「責任感の強い人」を求めている様子がうかがえる。

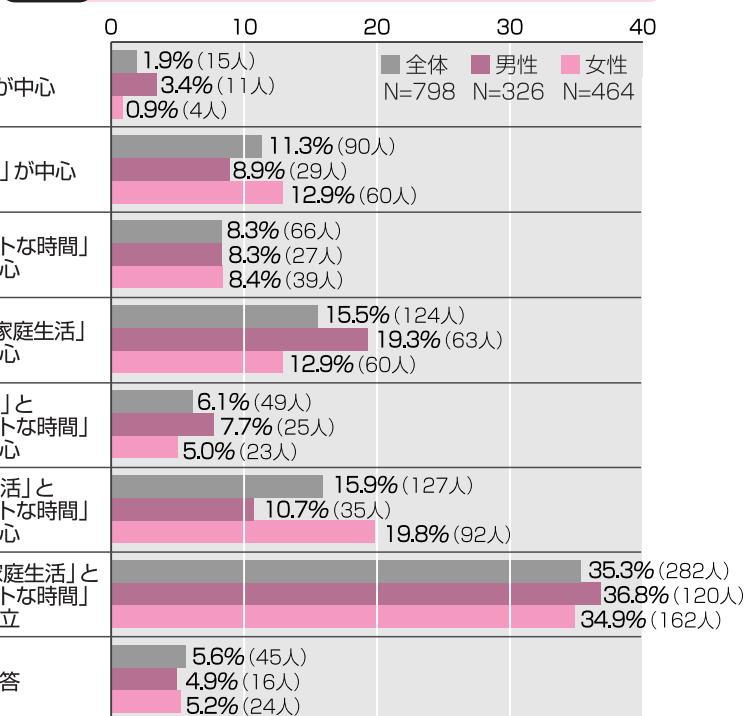
## ワーク・ライフ・バランスについて

経済や社会の構造が大きく変わり、働く人々の価値観が多様化する中で、「仕事」、「家庭生活（家事や育児、介護など）」、「プライベートな時間（地域や個人の生活）」を自分の希望にそってバランスよく展開できる社会の実現をめざして、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の取り組みが進められています。

**Q あなたの生活で、現状に近いものはつぎのうちどれですか。（○は1つだけ）**

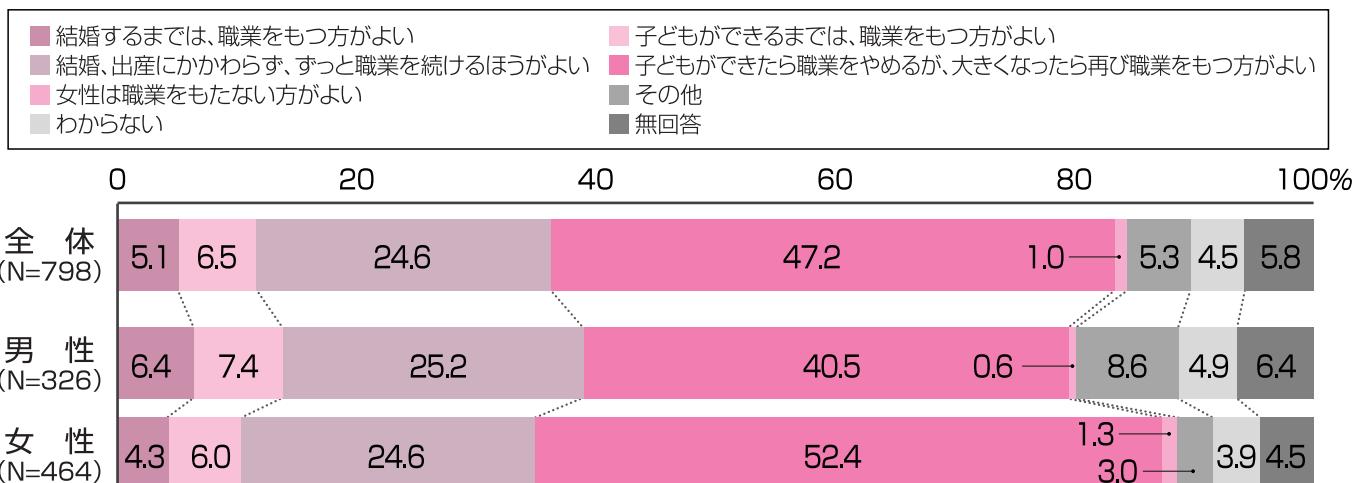


**Q あなたの生活で、希望に最も近いものはつぎのうちどれですか。（○は1つだけ）**



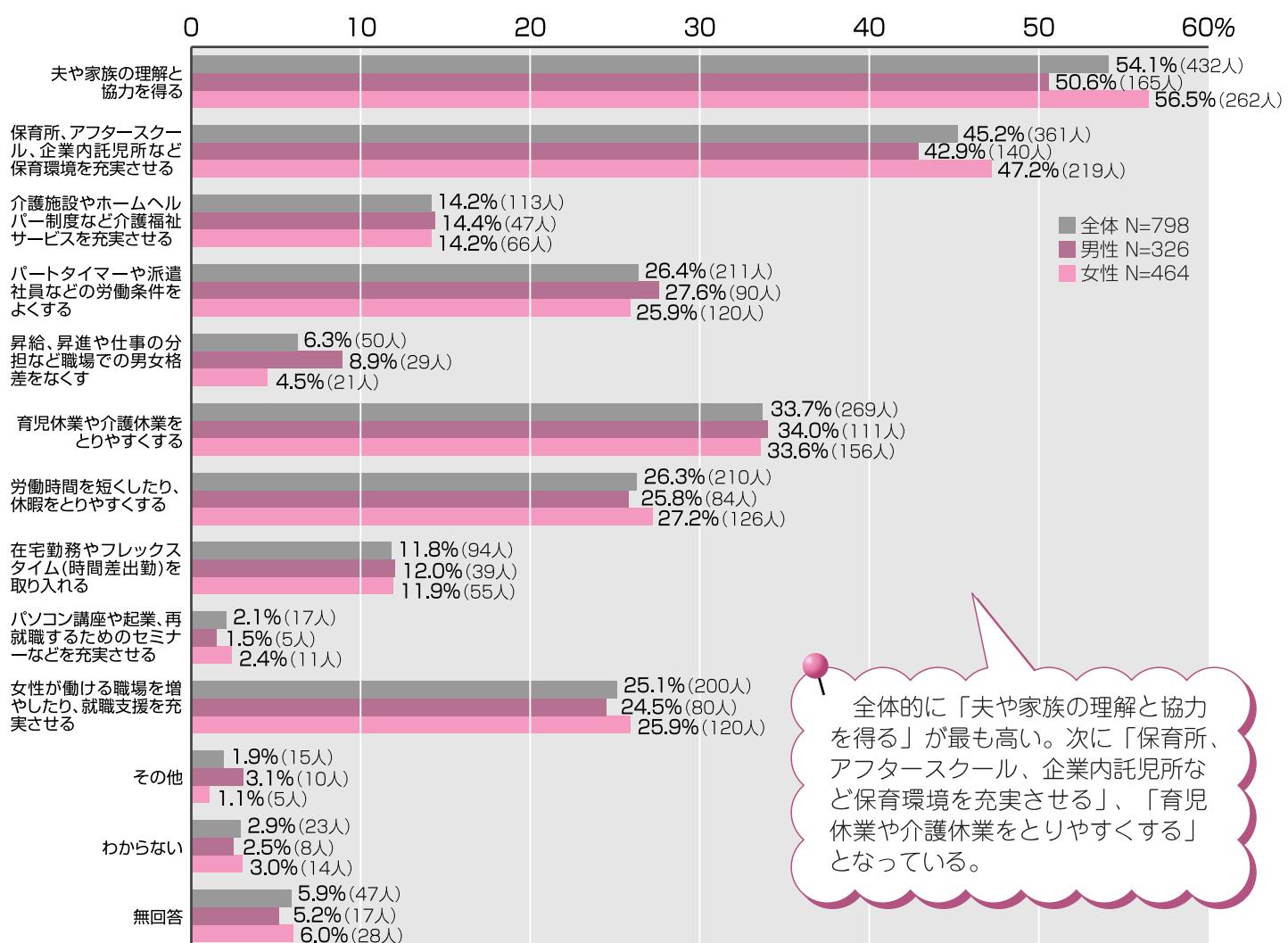
現状の生活では、性別でみると、男性は「『仕事』が中心の生活となっている」(29.4%)が最も高い。女性は「『仕事』と『家庭生活』が中心の生活となっている」(26.9%)が最も高い。希望の生活では、全体的に、「『仕事』と『家庭生活』と『プライベートな時間』を両立させたい」とする割合が高い。

**Q あなたは、女性が職業をもつことについてどのようにお考えですか。(○は1つだけ)**

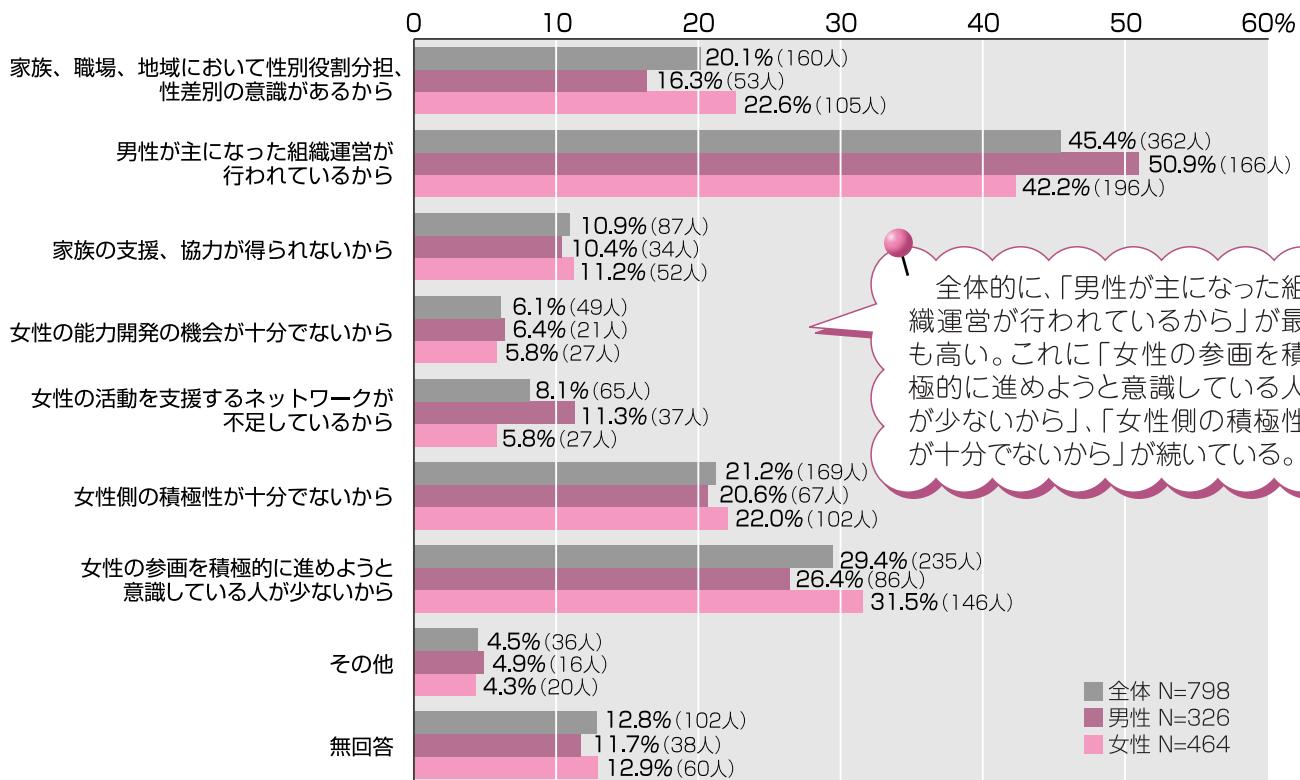


全体的に、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」という中断再就職の意向が高く、「結婚、出産にかかるから、ずっと職業を続ける方がよい」という就職継続の意向を大きく上回っている。

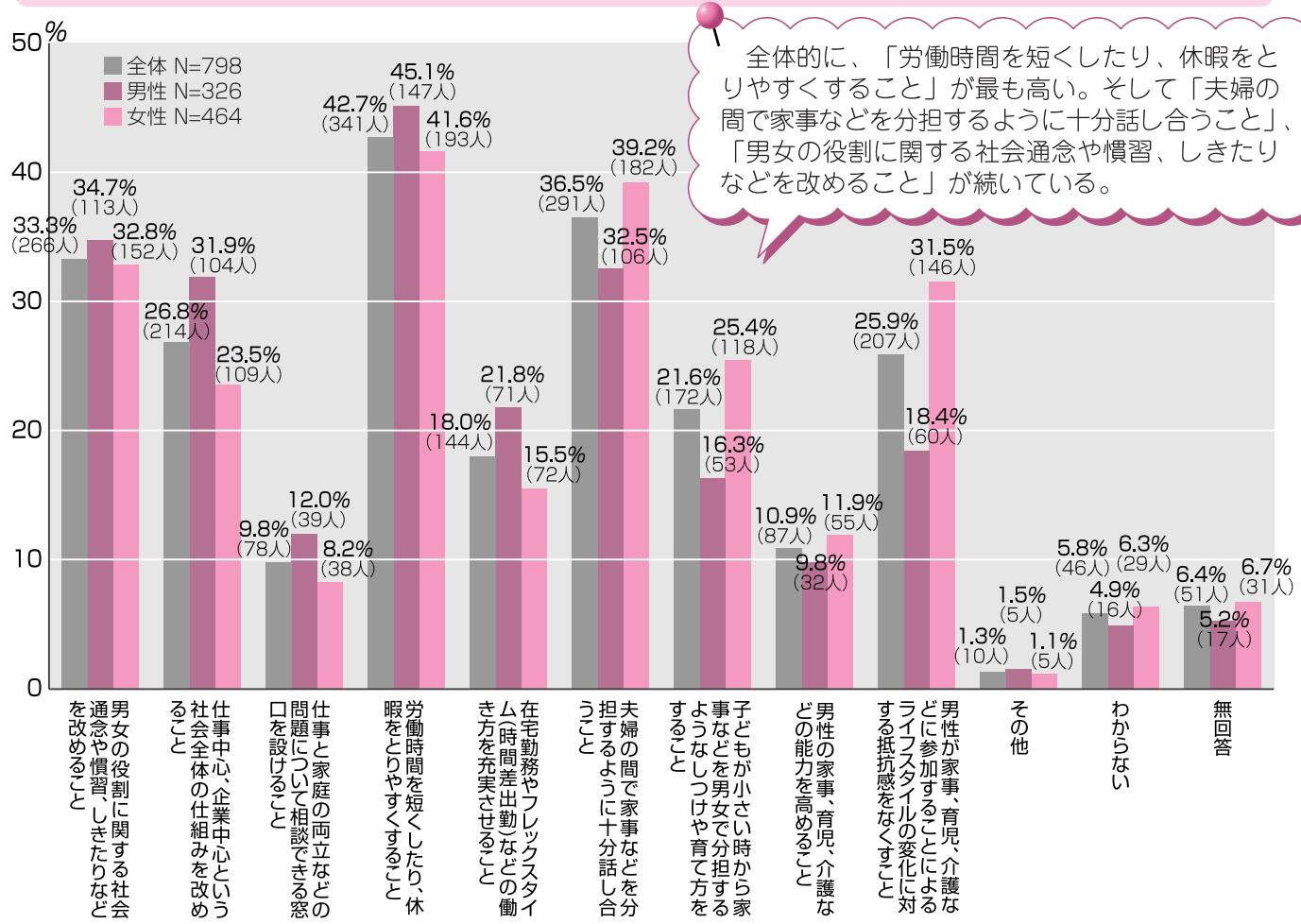
**Q 女性の社会進出が進んでいる一方で、結婚、出産、育児などで仕事をやめたり、再就職しにくくなど、女性が働きたくても働けない状況があります。あなたは、女性が働きやすい環境をつくるためには、とくにどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)**



**Q** 自治会や議会に女性が参画していないと言われています。加東市でも、自治会や議会などへの女性の参画が進んでいません。その理由はどのようなものだと思いますか。（〇は2つまで）

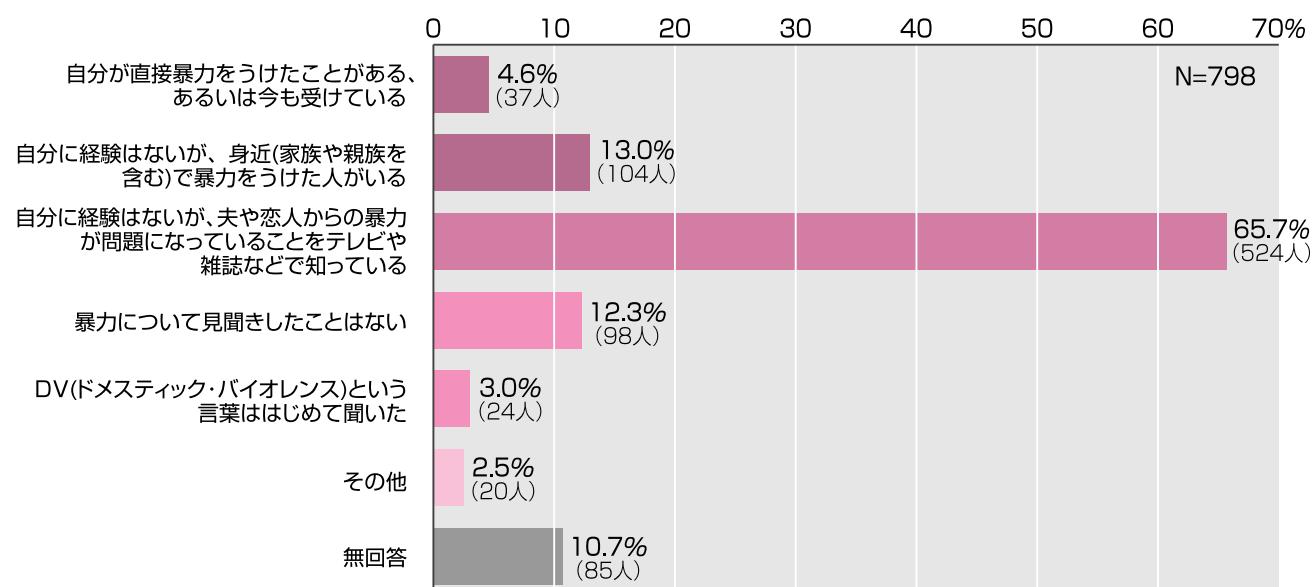


**Q** あなたは、男性と女性がともに働きながら家事、育児や教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、とくにどのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）

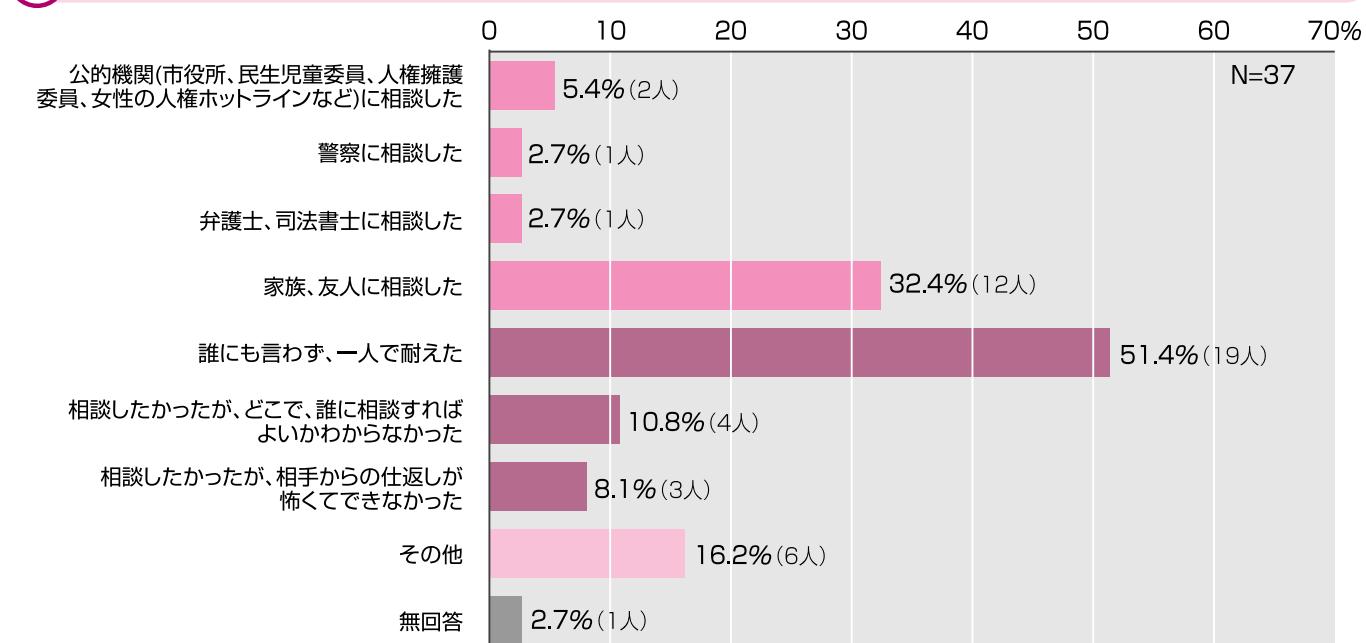


## DV\*について

Q 夫婦や恋人間での暴力(DV=ドメスティック・バイオレンス)が問題になっています。あなたは、これまでに配偶者や恋人から暴力をうけたり、見聞きしたことがありますか。(○はいくつでも)



Q 上の問で、暴力を受けた時、あなたはどうしましたか。(○はいくつでも)

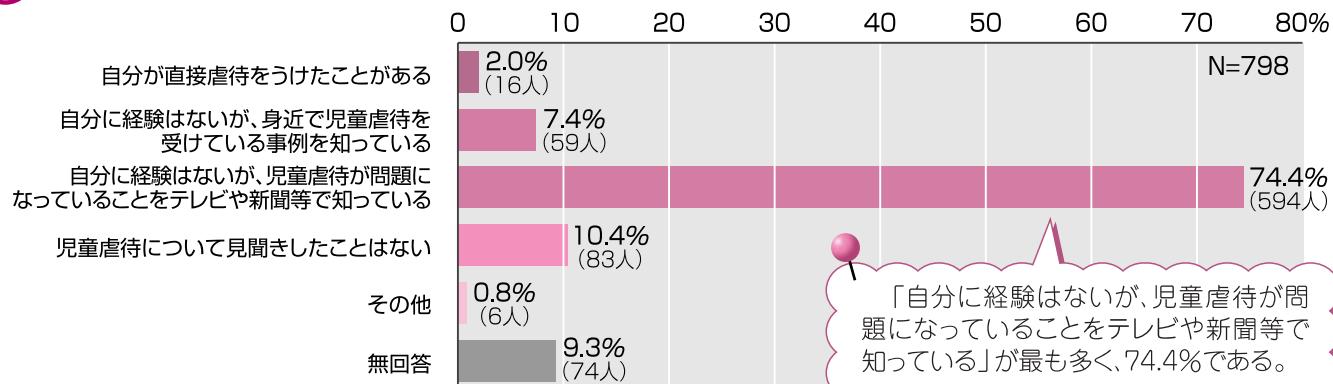


「自分が直接暴力をうけたことがある、あるいは今も受けている」は、4.6%である。暴力を受けた時の対応を聞いたところ、「誰にも言わず、一人で耐えた」(51.4%)が最も高く、次に「家族、友人に相談した」(32.4%)である。「誰にも言わず、一人で耐えた」「相談したかったが、どこで、誰に相談すればよいかわからなかった」「相談したかったが、相手からの仕返しが怖くてできなかった」をあわせた「相談できなかった人」が6割を超えてい。

\*DV=ドメスティック・バイオレンスとは…

多くの場合、夫や恋人などのパートナーから、「なぐる、ける、ものを投げつけるなどの身体的暴力」や「レイプなどの性的暴力」、「口汚くののしる、おどす、何を言っても無視するなどの精神的暴力」、「生活費を渡さないなどの経済的暴力」、「実家や友人ととの付き合いや本人の行動を監視、制限する社会的暴力」を受けることをいいます。被害者が男性の場合もあります。恋人同士など、親密な関係にある若者の間の暴力のことはデートDVと言われています。

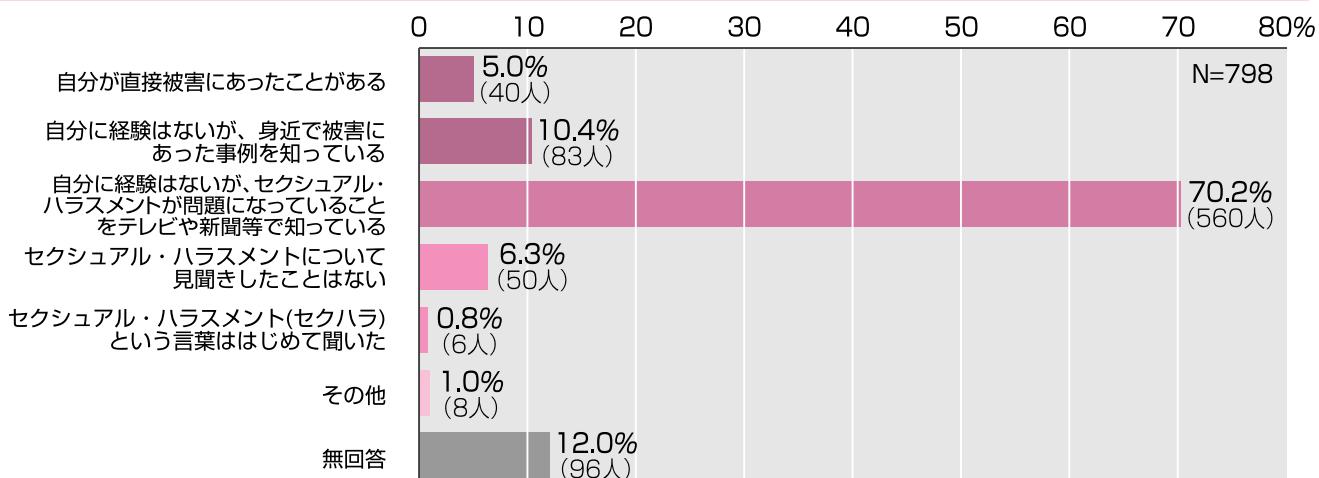
**Q あなたは児童虐待をうけたり、見聞きしたことがありますか。（○はいくつでも）**



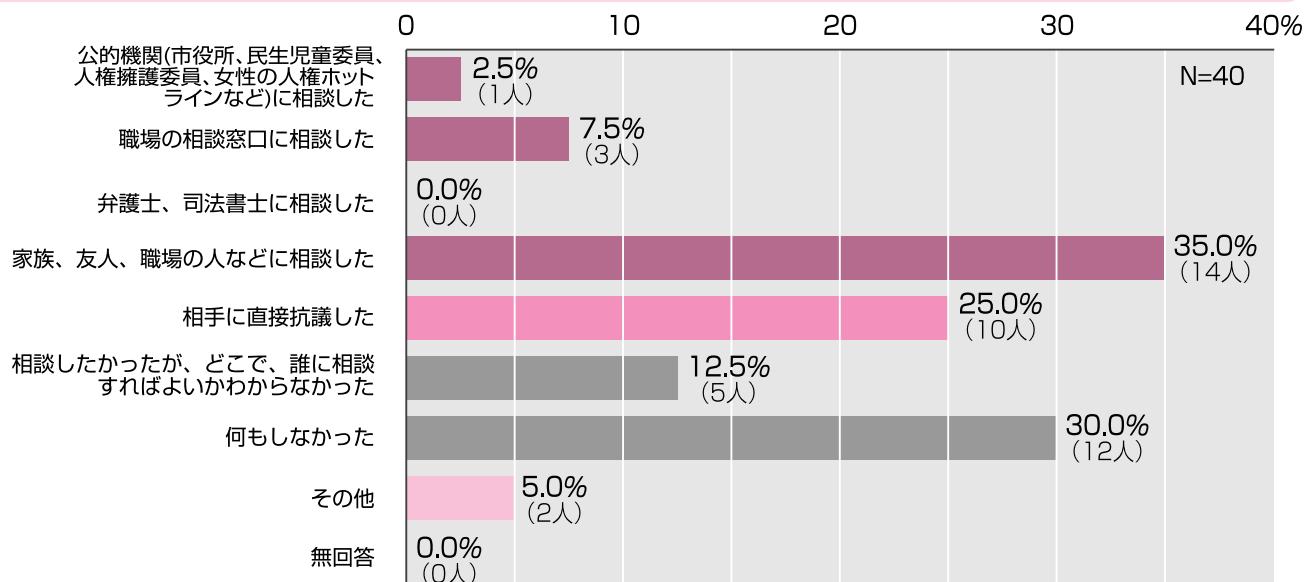
「自分に経験はないが、児童虐待が問題になっていることをテレビや新聞等で知っている」が最も多く、74.4%である。

## セクシュアル・ハラスメントについて

**Q あなたはセクシュアル・ハラスメント（セクハラ=相手方の、意に反した性的な言動。いわゆる性的いやがらせ）について経験したり、見聞きしたことが、ありますか。（○はいくつでも）**

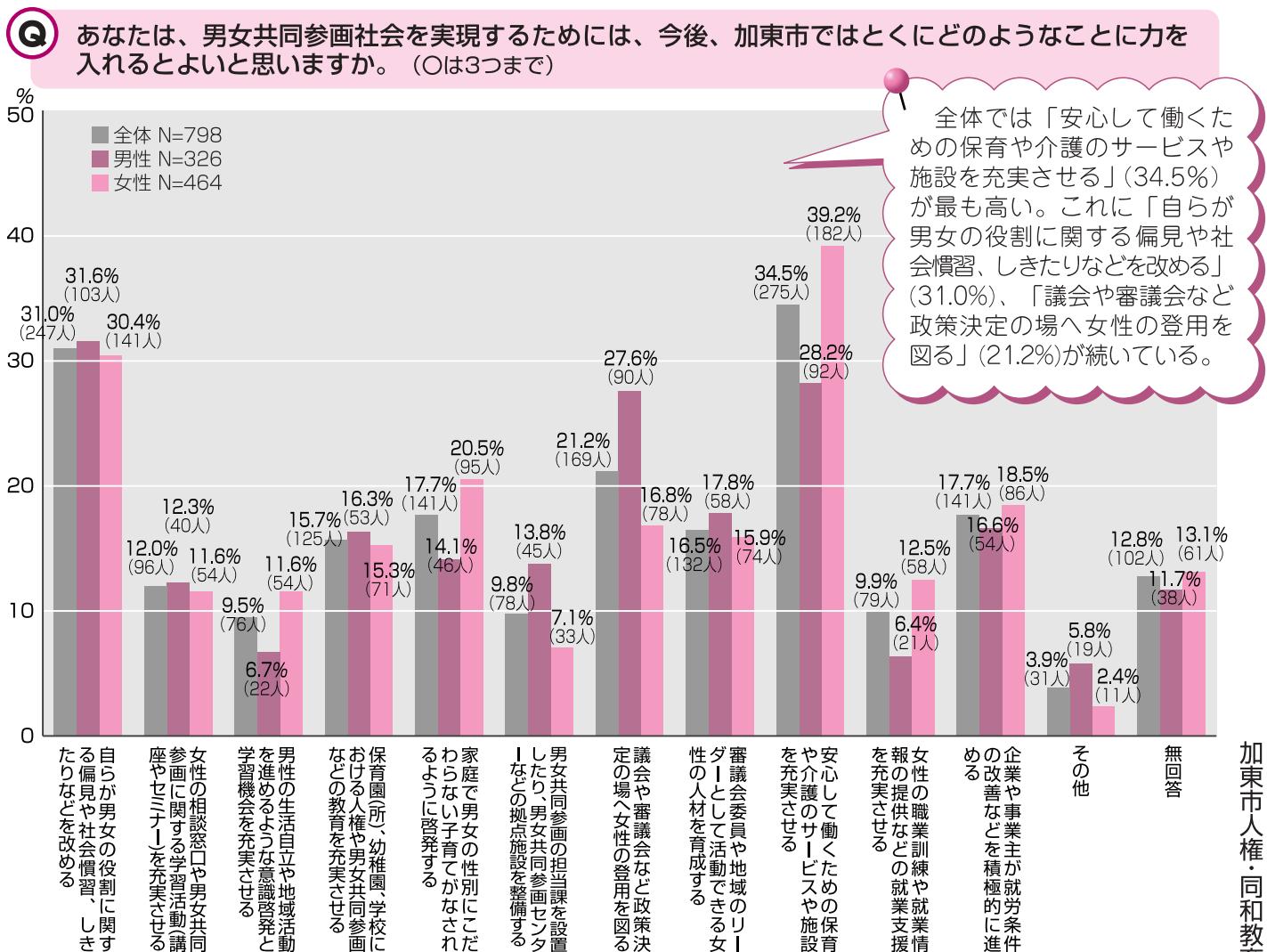


**Q 上の問でセクシュアル・ハラスメントの被害にあった時あなたはどうしましたか。（○はいくつでも）**



セクシュアル・ハラスメントについて「自分が直接被害にあったことがある」は5.0%である。

セクシュアル・ハラスメントの被害を受けた時の対応を聞いたところ、「相談したかったが、どこで、誰に相談すればよいかわからなかった」と「何もしなかった人」をあわせた「相談できなかった人」が4割を超えていた。



発行

加東市教育委員会  
加東市人権同和教育研究協議会

## ●男女共同参画社会の実現をめざして●

### ～男女が対等なパートナーとして参画できるまちづくり～



加東市は、女性も男性とともにまちづくりのあらゆる分野で、知恵を出し合い、対等なパートナーとして参画できる「男女共同参画社会」の実現をめざしたまちづくりを進めています。

男女共同参画社会とは、すべての人が一人の人間として尊重され、「男だから…」「女だから…」といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、男女が様々な活動に参画できる社会のことをいい、女性のみならず、男性にとっても明るい展望をもたらすものです。

こうした男女共同参画社会を実現するため、平成20年度中に「加東市男女共同参画プラン」を策定します。プランの中では、市民のみなさんや事業所のみなさんに取り組んでいただくこと、そして行政が取り組むべきことを明確にしてそれぞれの取り組みをわかりやすくしています。



〒679-0292  
兵庫県加東市下滝野1-2-69-2  
TEL 0795-48-35598 FAX 0795-48-3705